

3章 黒沢病院附属ヘルスパーククリニック

3-1. 院長ご挨拶	66	3-11. 検査部	79
3-2. 黒沢病院附属 ヘルスパーククリニック概要	69	3-12. 高崎健康管理センター	81
3-3. 外科（乳腺外科）	70	3-13. ヴアレオプロ	84
3-4. 内科	71		
3-5. 内視鏡センター	72		
3-6. 婦人科	73		
3-7. 脳神経外科（外来）	74		
3-8. 整形外科	75		
3-9. 歯科・歯科口腔外科（外来）	76		
3-10. 放射線部	77		



3-1. 院長ご挨拶



医療法人 社団美心会
黒沢病院附属ヘルスパーククリニック 院長

佐藤 裕一

知られざる植物油の危険性

前回に引き続き、健康はまず食事から、というお話。

今回は体にいいと思って、日々積極的に摂取している食品が、実は有害かもしれないという話題。

植物油（とくに多価不飽和脂肪酸、polyunsaturated fatty acid, 以下PUFAまたはプーファ）の危険性が近年注目を集めています。

動脈硬化の原因は脂（動物性油脂、飽和脂肪酸）であるとされ、逆に植物油が健康的だと信じ、オリーブ油、亜麻仁油、エゴマ油、MCTオイルなどを積極的に採っている方は多いでしょう。しかし近年は動脈硬化の原因のひとつはPUFA（プーファ、脂ではなく油）であるとする報告が相次いでいます。

プーファはいわゆる二重結合（不飽和結合）を有する、きわめて酸化されやすい油で、そのため空気に触れたり、体内に入ると、アルデヒド（過酸化脂質）に変換されます。アルデヒドとは、例えば換気扇やコンロに付着するあの茶色のベタベタ成分です。このアルデヒドは組織の炎症を惹起します（オメガ6はプロスタグランジンE-2、オメガ3はプロスタグランジンE-3を産生）。

コレステロールが動脈硬化の犯人であると考えられたのは、動脈硬化巣にコレステロールが沈着しているのが観察されたからですが、その後の詳細な病理学的研究では、実は動脈硬化巣に沈着しているのはすべてプーファが結合したエステル化コレステロールであり、さらにエステル化したコレステロールを貪食しようと血管壁に集合した白血球（マクロファージ、単球）の死骸（泡沫細胞、foam cell）であることが判明しています。コレステロールにはむしろプーファや最終糖化産物（AGEs）によってダメージを受けた血管壁を保護するという役割があるのです。

●Ménégaud L; Macrophage fatty acid metabolism and atherosclerosis: The rise of PUFAs; Atherosclerosis, 2019

最も酸化しやすいプーファは実はDHAを代表するオメガ3脂肪酸ですが、オリーブ油を代表するリノール酸（オメガ6）、リノレイン酸も酸化され、アルデヒドとして動脈壁に沈着し、血管を詰まらせる原因となります。

●Dessi M; Atherosclerosis, Dyslipidemia, and Inflammation: The Significant Role of Polyunsaturated Fatty Acids, ISRN Inflammation, 2013

●Dipak P. Ramji, D.P; Polyunsaturated Fatty Acids and Atherosclerosis: Insights from Pre-

Clinical Studies, Eur J Lipid Science and Technology, 2018

●Dipak P. Ramji, D.P; Polyunsaturated Fatty Acids and Atherosclerosis: Insights from Pre-Clinical Studies, Eur J Lipid Science and Technology, 2018

●Liu Q; Relationship between Polyunsaturated Fatty Acid Metabolism and Atherosclerosis; Rev Cardioasc Med, 2024

血管（動脈、静脈いずれも）は細い血管ほどプーファのダメージ（血管炎）を受けやすく、そのため甲状腺、乳腺、肺腺、膵臓、子宮（子宮は腺組織そのものです）、前立腺、汗腺などの血管が豊富な腺組織がダメージを受けます。さらにプーファから産生させるアルデヒドはDNAの突然変異を惹起し、細胞のがん化を来します。

●Kawai Y; Abundance of DNA adducts of 4-oxo-2-alkenals, lipid peroxidation-derived highly reactive genotoxins; J Clin Biochem Nutr, 2017

事実2023年のLancet誌は、大規模前向き試験（血中プーファ高値群562,871人、対照群1,619,465人）でプーファ高値群は結腸直腸癌、食道癌、乳癌、前立腺癌が有意に多かったと報告しています。

●Haycock PC; The association between genetically elevated polyunsaturated fatty acids and risk of cancer, The Lancet Vol. 91, 2023

またプーファが前立腺癌細胞の増殖を増大させるとの報告もあります。

●Bratton BA; Effect of polyunsaturated fatty acids on proliferation and survival of prostate cancer cells; Plos one; 2019

また近年のコホート調査のメタ解析では、プーファが2型糖尿病の発症率、インスリン抵抗性の上昇をきたすことが証明されています。

●Hu M; Polyunsaturated fatty acid intake and incidence of type 2 diabetes in adults: a dose response meta-analysis of cohort studies; Diabetology & Metabolic Syndrome, 2022

さらにプーファは神経鞘（ミエリン鞘）の脂質を破壊し、神経痛、不整脈、最悪の場合ではパーキンソン病、多発性硬化症、アルツハイマー型認知症を引き起こすことが知られています。

●Fatkin D; Fishing for links between omega-3 fatty acids and atrial fibrillation. Circulation 145, 2022

●Yoo D; Dietary intake and plasma levels of polyunsaturated fatty acids in early-stage of Parkinson's Disease; Scientific Reports, 2021

●Run-ze Zhu M; Dietary fatty acids and risk for Alzheimer's disease, dementia, and mild cognitive impairment: A prospective cohort meta-analysis; Nutrition, vol. 90, 2021

さらに眼科領域では加齢黄斑変性症、緑内障、飛蚊症とプーファの関連も指摘されています。

●Skowronska-Krawczyk D; Long-Chain Polyunsaturated Fatty Acids and Age-related Macular Degeneration; Adv Exp Med Biol, 2019

●Wang YE; Association of dietary fatty acid intake with glaucoma in the United States; JAMA Ophthalmol, 2018

またプーファは甲状腺のう胞、肝のう胞、腎のう胞、膵のう胞など、のう胞性疾患の原因であることも

確認されています。

●Seegmiller A; Abnormal unsaturated fatty acid metabolism in cystic fibrosis: Biochemical mechanisms and clinical implications; Int J Mol Sci, 2014

●Coste TC; Polyunsaturated fatty acid profiles in cystic fibrosis; Clinical Chemistry. 2008

プーファは様々な食材に含まれます。揚げ物、ドレッシング、マヨネーズ（キャノーラ油、大豆油など）、チョコレート、ラクトアイス、コーヒーフレッシュ、ホイップクリーム、ポテトチップス、フライドポテト（キャノーラ油、大豆油、パーム油など）、すべての冷凍食品（形崩れを防止するため）、パン（これはグルテンとプーファのダブルパンチ）ナッツ類（リノール酸、 α リノレン酸）などどれも身近な食品です。

プーファフリーの食生活はなかなか難しいかもしれませんが、前述の病気をすでに発症している患者さんには是非とも実行していただきたいと思います。

そして医師や栄養士も栄養学を根本的に見直す必要があるでしょう。

3-2. 黒沢病院附属ヘルスパーククリニック 概要（2024年度）

名称	医療法人 社団美心会 黒沢病院附属ヘルスパーククリニック
管理者	医療法人 社団美心会 理事長 黒澤 功 黒沢病院附属ヘルスパーククリニック 院長 佐藤 裕一
所在地	〒370-1203 群馬県高崎市矢中町188 tel.027-352-1111（代表）
病床数	19床
診療科目	・泌尿器科 ・泌尿器科（人工透析） ・脳神経外科 ・外科 ・消化器外科 ・乳腺外科 ・整形外科 ・内科 ・消化器内科 ・糖尿病内科 ・内分泌内科 ・脂質代謝内科 ・循環器内科 ・呼吸器内科 ・肝臓内科 ・内視鏡内科 ・婦人科・アレルギー科 ・皮膚科 ・美容皮膚科 ・歯科 ・歯科口腔外科 ・放射線科・リハビリテーション科 ・形成外科
各種指定	・保険医療機関 ・労災指定医療機関 ・生活保護法指定医療機関 ・指定自立支援医療機関 ・結核予防法指定医療機関 ・指定小児慢性特定疾病医療機関 ・各種健診取扱医療機関（市実施） ・難病患者受入指定医療機関 ・群馬県インターフェロン治療費助成事業契約機関 ・群馬県肝疾患専門医療機関 ・群馬県救急医療協力機関
施設基準	・機能強化加算 ・時間外対応加算1 ・夜間・早朝等加算 ・外来感染対策向上加算 ・連携強化加算 ・明細書発行体制等加算（医科・歯科） ・サーベイランス強化加算 ・ニコチン依存症管理料 ・がん治療連携指導料 ・肝炎インターフェロン治療計画料 ・外来化学療法加算1 ・検体検査管理加算（Ⅰ） ・CT撮影及びMRI撮影 ・エタノールの局所注入（甲状腺） ・エタノールの局所注入（副甲状腺） ・HPV核酸検出及びHPV核酸検出（簡易ジェノタイプ判定） ・CAD/CAM冠 ・別添1の「第9」の（3）に規定する在宅療養支援診療所 ・在宅時医学総合管理料及び施設入居時等医学総合管理料 ・在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料の注2に規定する遠隔モニタリング加算 ・歯科点数表の初診料の注1に規定する施設基準 ・歯科疾患管理料の注11に規定する総合医療管理加算及び歯科治療時医療管理料 ・クラウン・ブリッジ維持管理料 ・歯科口腔リハビリテーション料2 ・外来腫瘍化学療法診療料3 ・BRCA1/2遺伝子検査（血液） ・精密触覚機能検査 ・医療DX推進体制整備加算 ・外来・在宅ベースアップ評価料（Ⅰ）（Ⅱ） ・歯科外来・在宅ベースアップ評価料（Ⅰ）（Ⅱ） ・生活習慣病管理料（Ⅰ）（Ⅱ） ・医療DX推進体制整備加算（歯科） ・歯科外来診療医療安全対策加算1 ・歯科外来診療感染対策加算1 ・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
認定	・ISO9001 ・プライバシーマーク（Pマーク） ・働きやすい病院評価 ・病院機能評価 ・人間ドック健診施設機能評価認定施設（Ver.4.0） ・指定療法運動施設 ・人間ドック健診専門医研修施設 ・人間ドック保健指導実施施設 ・日本脳ドック学会認定施設 ・マンモグラフィ健診施設画像認定

3-3. 外科（乳腺外科）

◆ 概要

乳腺外来では、ヘルスパーククリニック乳腺外来で乳腺疾患の診断・治療、甲状腺疾患の診断・治療を、健康管理センター人間ドック・健康診断で乳がん検査、甲状腺疾患検査を行っています。

画像診断では、放射線科のマンモグラフィーと検査科の乳腺超音波検査が基本ですが、マンモグラフィー3D（トモシンセシス）、MRI、CTなども追加します。悪性が疑われる時、腫瘍が大きい時は、穿刺細胞診、穿刺組織診、吸引式組織生検などを行い病理組織検査にて診断します。エコーガイド下での穿刺で安全に行えています。2024年度には42名の乳がん患者を発見しました。

乳がん患者の手術は、専門医療機関を紹介しています。高崎総合医療センター、前橋赤十字病院、群馬大学医学部病院等に依頼しました。病診連携により乳がん術後の方の化学療法やホルモン療法を行ったり、術後検査（CT検査や腫瘍マーカー検査）を担当します。

乳腺外来では、甲状腺・副甲状腺疾患の診断治療も行っています。バセドウ病、亜急性甲状腺炎などの甲状腺機能亢進症や橋本病など甲状腺機能低下症の診断・ホルモン治療を行います。甲状腺腫大や甲状腺腫瘍が見られるときは、甲状腺穿刺細胞診を施行します。2024年度には1名の甲状腺がんを発見しました。甲状腺がんも専門医療機関を紹介しています。



尾澤 正俊
外科顧問

◆ スタッフ（2025年3月時点）

尾澤（常勤）、および遠藤、菊池、五十嵐、黒住（非常勤4名）

◆ 2024年度の実績

- ①高崎市乳がん検診受診者数 1,317名
- ②人間ドック・健康診断の乳がん検診受診者数 13,706名
（マンモグラフィー 10,027名、乳腺超音波検査 6,692名、3Dマンモグラフィー 216名）
- ③検診や人間ドックからの乳がん患者発見数 25名
- ④検診や人間ドックからの甲状腺がん患者発見数 1名
- ⑤外来での受診者数、マンモグラフィー 826件、乳腺超音波検査 1,275件、甲状腺超音波検査 335件
- ⑥乳腺外来からの乳がん患者発見数 42名（当院ドック・高崎市乳がん検診で要精査となり、乳腺外来を受診して乳がん発見となった方 25名を含んだ人数です。）
- ⑦乳腺外来からの甲状腺がん患者発見数（当院ドックで要精査となり、乳腺外来を受診して甲状腺がん発見となった方 1名を含んだ人数です。）

*実績集計にご協力いただいた健診センター：井戸谷恵さん、佐藤花音さん、放射線部：長留美さん、検査部：須田朱音さん、医療事務部：村瀬美智子さんに感謝申し上げます。

3-4. 内科

◆ 概要

日本の年間癌罹患数と死亡数は、人口の高齢化によって増加傾向にあります。癌を早期発見し、早期に治療を開始することは、命を守り、健康な生活を取り戻すために非常に重要です。早期発見には、定期的な健康診断が不可欠です。

癌の早期発見については、当院内科では、矢島医師（内科診療部長兼高崎健康管理センター長）を中心に、人間ドック検診で見つかった異常は、当日でも、速やかに外来受診できる対応をとっております。

早期治療については、外科的治療が必要な消化器疾患に関しては、済生会前橋病院と親密に連携を取り、早期治療を心がけて参りましたが、さらに、2025年6月より、高崎総合医療センター消化器外科とも連携を取り、早期受診が必要な患者さんに関しては、高崎総合医療センター消化器外科「連携臨時予約枠」を設けていただき、早期受診、治療が可能となりました。

内科外来では、健診部門と連携を取り、早期発見、早期治療を行い、患者さん、患者さんのご家族の身体的、精神的、経済的な負担を軽減できるような、患者さんに寄り添う医療を行って参りたいと思います。



浅香 有紀
内科医師

◆ 2024年度外来実績

- ・内科外来（カッコは2023年度）

新患1,436 (1,070) 人 初診5,948 (4,309) 人 再診13,594 (12,290) 人

- ・健診については、高崎健康管理センターの項を参照
- ・上部消化管、下部消化管の内視鏡検査、内視鏡手術の実績は内視鏡センターの項にまとめて記載

◆ スタッフ（常勤医）

佐藤裕一（黒沢病院附属ヘルスパーククリニック 院長 兼 画像センター長）、矢島義昭（内科診療部長 兼 高崎健康管理センター長）、松本健（第一内科部長）、浅香有紀（外来内科部長）

3-5. 内視鏡センター

◆ 概要

当センターの特色としましては上部消化管内視鏡検査（以下、胃カメラ）が非常に多い事が挙げられます。北関東一、全国でも有数の件数を誇ります。2024年度も年間2万9200件と毎年過去最多記録を更新し続けています。

特に健診・ドックの胃カメラがその大半を占めておりニーズは増え続ける一方です。

受診者の方々の健康意識の高まりや胃カメラが胃癌検診の主流となって来ている昨今の背景によるものと考えます。

当院の常勤医師のみでは到底対処しきれるものではなく、群馬大学内科と外科・済生会前橋病院・前橋赤十字病院等と様々な施設から多くの派遣や個人でも来て頂いている非常勤医師らの御協力の元、平日は毎日医師7人体制で行い、月1回の日曜ドックでも胃カメラを行っています。それでもなお「胃カメラの予約がなかなか取れない」というお声を頂いております。

2024年9月から月1回の金曜午後ドックも開始し、2025年度からは曜日限定で8人体制も検討しています。

医師や内視鏡スタッフの増員、内視鏡施設・設備の拡充の必要性和多くの課題が山積していますが、可能な限り多くの胃カメラのニーズに対応出来るよう尽力していく所存です。



小林 勇治

内視鏡センター長

◆ スタッフ（常勤医）

小林勇治、太田英孝、浅香有紀、木暮道夫、水口貴仁

◆ 2024年度の実績（黒沢病院、およびヘルスパーククリニックにおける実績）

健診・ドック	上部消化管内視鏡検査	28,179 件
健診・ドック	下部消化管内視鏡検査	127 件
外来・入院	上部消化管内視鏡検査	1,057 件
外来・入院	上部消化管内視鏡手術（ポリペク、EMRなど）	32 件
外来・入院	下部消化管内視鏡検査	970 件
外来・入院	下部消化管内視鏡手術（ポリペク、EMRなど）	889 件

他にESD 46件、ERCP等28件も実施

◆ 学術活動

・Hidetaka Ohta. Epidemiological study of esophageal cancers (squamous cell carcinoma and Barrett's adenocarcinoma) in a large-scale health screening center esophagogastroduodenoscopy: A retrospective study. The 8th Korea Digestive Disease Week, Seoul, 2024.11.14-16 (Excellent Paper Award 受賞)

・太田英孝、小林勇治、他. 人間ドックの上部消化管内視鏡検査で9年間に発見された胃癌の特徴. 第65回日本人間ドック・予防医療学会学術大会, 横浜, 2024.9.6-7

3-6. 婦人科

◆ 概要

高崎健康管理センターの婦人科検診

『毎年子宮癌検診を受けていたのに子宮体癌（以下体癌）だった、卵巣癌だった』との話を時々聞きます。本邦の婦人科癌の統計では、頸癌：体癌：卵巣癌の％比は1975年では74：8：18で圧倒的に頸癌が多かったのが、その後、頸癌が横ばいであるのに対し、体癌と卵巣癌が増加し7年前、2018年の時点で27：42：31で体癌が最も多く、次いで卵巣癌、頸癌は最少となりました。にもかかわらず、子宮頸部細胞診と内診の婦人科検診が少なからず、これでは体癌、卵巣癌は到底診断できません。2022年4月から当院の婦人科検診は経膈超音波検査（以下TVUS）がオプションで追加となり、体癌と卵巣癌ノーマークの状態から脱し得ました。導入初年度はTVUS施行率は35.1%でしたが、ここ3年間で増加することはなく減少傾向で今年度は26.6%でした。今後、再度増加に転ずるようさらなる啓蒙が必要である、体癌と卵巣癌を見逃してはならないと日々意識しています。



岸 東彦
婦人科医師

外来状況

2020年4月の自分の入職で婦人科二人体制に、その翌年の酒井部長の復帰で三人体制となってから4年経過。この間、婦人科外来の延べ受診者数は、2019年度：1,061名、2020年度：1,636名、2021年度：2,048名、2022年度：2,948名、2023年度：3,058名と増加し続けてきました。油断した訳ではありませんが、今年度は3,025名と5年ぶりに前年度を下回りました。実績欄の如く初診者数は前年度を上回ったものの、再診者数の減少で1.1%減となりました。

次年度には、女性婦人科医師の入職が決定しました。婦人科の特殊性として、職員が自施設婦人科への受診を躊躇うことは他科に比べてはるかに多いことは明らかな事実です。口頭で相談に乗ることはあっても外来受診には至ることは多くありません。女性医師なら受診への抵抗は減と考えられます。職員の皆様が、仕事の合間をぬっての相談や投薬が叶えば利便性が増し、働く女性への手助け、働きやすさの向上につながると思います。また職員でなくても若年者は特に女性医師を希望される傾向が強いです。女性医師の外来枠ができること、また増員により婦人科外来が全ての曜日において午前も午後も対応可能となれば次年度以降の外来受診者数は再び増加に転じるものと期待しています。

◆ 2024年度実績（延べ受診者数）

- ・婦人科健診：16,886名（2023年度：16,085名） 内、TVUS：4,507名（2023年度：5,713名）
- ・婦人科外来：3,025名〔初診170名、再診2,855名〕（2023年度：3,058名〔初診147名、再診2,911名〕）

◆ 学術活動

- ・岸東彦，他．ドック婦人科検診で発見された卵巣癌Ⅰ期の3例—その異なる臨床経過—．第65回日本人間ドック・予防医療学会学術大会，横浜，2024.9.7
- ・岸東彦，他．婦人科ドックへの経膈超音波の導入について—子宮頸部細胞診と内診のみの婦人科検診で良いのか—．令和6年度秋季群馬県医学会，前橋，2024.11.30

3-7. 脳神経外科（外来）

◆ 概要

ヘルスパーククリニック脳神経外科外来では、脳卒中、頭部外傷、脳腫瘍等の脳神経外科疾患及び頭痛、めまい、もの忘れを主訴に来院した患者さんの診療を行っています。また、脳卒中の急性期治療終了後は再発予防のため、生活習慣病のコントロールや生活スタイルの改善を行い、長期間に亘って患者さんの健康を守るよう努めております。

2024年度の外来受診者数は、初診2,713名（2023年度2,707名）、再診12,267名（2023年度11,820名）とやや増加しており、昨年に引き続きまして特に頭部外傷で受診した患者さんが増加傾向にありました。患者さんの表情や歩き方をしっかり観察し、迅速に緊急性を判断しながら適切な診療を行うよう心がけてまいります。

2024年4月から2025年3月までの間、高崎健康管理センターで脳ドック（脳検診、もの忘れドック含む）を受けた1,644名のうち、異常所見を認めた人数は以下の通りです。

- 未破裂脳動脈瘤40名（前交通動脈瘤4名、中大脳動脈瘤6名、内頸動脈瘤26名、椎骨動脈瘤4名）：
大部分が治療適応のない小さな動脈瘤ですが、今後増大してきた場合は時機を逸することなく治療へ繋げるよう定期的な検査を行い、経過をみていく予定となっております。また、手術適応のある大きさであった方につきましては、当院で血管内治療を行い問題なく経過しております。
- 脳腫瘍8名（髄膜種4名、下垂体腫瘍2名、海綿状血管腫1名、ラトケ嚢胞1名）：
下垂体腫瘍2名につきましてはその後当科外来での精査で症候性である事がわかり、高度医療機関に紹介し手術となりました。その他の方は当科外来で経過観察としております。
- 脳血管狭窄16名（中大脳動脈7名、内頸動脈8名、前大脳動脈1名）：
全例無症候性であり、生活習慣病の管理をしながら定期的な検査で経過をみております。
- 硬膜動静脈瘻1名：無症候性であり、当科外来で経過観察となっております。

なお、もの忘れドックでVSRAD 3.0以上、認知機能テスト20点以下の方につきましては、速やかに当科外来で投薬加療を開始し、同時にあんしんセンターのご案内をし介護支援へ繋ぎました。

今後も地域の皆さまにより良い医療を提供できるよう、丁寧な診療を心掛け日々精進してまいります。引き続きご指導の程をよろしくお願い致します。

◆ スタッフ（2025年3月時点）

大森重宏（黒沢病院副院長）、小倉丈司（脳卒中センター長）、小林広樹、木村辰規、吉田馨次郎、中島まゆ



中島 まゆ

脳神経外科 医師

◆ 2024年度実績

- ・外来延べ患者数：新患2,713名、再診12,267名
（頭痛696名、頭部外傷1,252名、めまい454名、認知症207名、てんかん196名、脳腫瘍25名）
- ・高崎健康管理センターにおける脳ドック受診者数：1,644名

3-8. 整形外科

黒沢病院附属ヘルスパーククリニックで整形外科・リウマチ科の外来を担当させて頂いております岡邨（おかむら）です。黒沢病院附属ヘルスパーククリニックでは、整形外科専門医により金曜日以外の毎日、整形外科外来診療を行っております。



岡邨 興一
整形外科医師

診療内容としては、一般整形外科診察に加えて、リウマチ専門医によるリウマチ・膠原病の診断および治療、脊椎外科専門医（首や腰の骨の専門医）による外来も行っています。また、高崎総合医療センターや井上病院、群馬大学医学部附属病院など地域の基幹病院や専門病院、近隣の整形外科専門クリニックとの連携を通して、患者さんに最適な医療が提供できるようにしています。

今回は黒沢病院附属ヘルスパーククリニックに最近受診される患者さんの特徴を簡単に述べたいと思います。乳幼児から100歳を超えるご高齢の方まで幅広い年齢層の患者さんが、日常生活での怪我から膝や腰の慢性的な痛みまでさまざまな理由で受診されます。また、黒沢病院附属ヘルスパーククリニックには泌尿器をはじめ、脳神経外科、内科、外科等の診療科があることから、それらの診療科に通院中に、主治医の先生に困っていることを相談した結果、整形外科受診を勧められて受診される方も多くいらっしゃいます。さらに、最近は超高齢化社会になっており、自宅や施設内で転倒されたり、体動困難になったりした結果、黒沢病院に夜間や休日等の時間外に救急搬送され、翌日や入院後に整形外科に紹介になる高齢の患者さんも増えています。これは、他院が救急患者を受け入れていない時間帯にも黒沢病院が機能しているからだと思っています。

2024年4月～2025年3月の外来患者数は5,463名でした。昨年度は、脊椎外科専門医による診療が再開され、地域の病院、クリニックとの連携も強化してまいりました。2025年度は、金曜日以外の毎日、整形外科外来を開設しているため、以前より新規の患者さんのアクセスがよくなっています。また、救急外来を受診された患者さんのフォローもより迅速に行えるようになっていきます。当院を受診された患者さんに最適な治療ができるように、外来診療を行っていければと思っています。今後とも、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

	月	火	水	木	金	土
AM				松尾亮平		岡邨興一＊
PM	岡邨興一＊	須藤貴仁＊	岡邨興一＊			①西野目昌宏★ ②鈴木 隆之 ③荒 毅★ ④柳澤 健太 ⑤坂根 英夫＊

2025年4月外来診療スケジュール（＊リウマチ専門医 ★脊椎脊髄外科専門医）

3-9. 歯科・歯科口腔外科（外来）

◆ 概要

当科の特徴は4つあります。①外科処置の紹介治療。近隣の一般歯科診療所とも地域連携し、抜歯をはじめとした外科治療を行っています。②有病者および高齢者の歯科治療。何らかの疾患（高血圧症、糖尿病、脳梗塞、ペースメーカー、人工透析、がん治療、認知症など）を有する方、または脳梗塞後の後遺症などで身体的に障害のある方、高齢社会に伴い90歳を超えるような超高齢な患者さんを多く診ています。

全身状態へ配慮した治療、治療用の椅子への着席や姿勢を保持することが困難な方への対応など、バリアフリー対応だけではなく、難度のある治療への対応を整え、万が一に生じた際の緊急時対応も整えています。③医科歯科連携の医療提供。病院内歯科として、周術期管理や睡眠時無呼吸症候群の治療など、医科と歯科の連携をスムーズに行い、より多面的な治療の提供につなげて効果を出しています。④専門外来としてのインプラント治療。経験豊富なインプラント専門医（非常勤医師）と連携し、治療難度の高い症例（具体的には、高齢者・高血圧など疾患を有する方・骨が薄いあるいは脆弱な方など）に対しても、当院手術室にて全身管理下の元で行うなど、高度医療の提供体制も有しています。



小林 充典
歯科医長

◆ ヘルスパーククリニック歯科・歯科口腔外科のスタッフ

常勤歯科医師2名、非常勤歯科医師6名、常勤歯科衛生士4名、非常勤歯科衛生士1名

◆ 2024年度実績

- ・外来延べ受診者数 10,862名（2023年度は、10,234人）

◆ 2024年度の学術活動

- ・小林充典. 高齢者閉塞性睡眠時無呼吸に対する口腔内装置の有効性の検討. 日本老年歯科医学会第35回学術大会, 札幌, 2024.6.29
- ・小林充典. 職員健診から見た高齢労働者の睡眠休養感の調査（若年労働者との比較）. 日本老年歯科医学会第35回学術大会, 札幌, 2024.6.30
- ・小林充典. 労働者の睡眠休養感と特定健診項目・標準的な質問項目の関連性の検討. 第48回日本睡眠学会, 横浜, 2024.7.18
- ・小林充典, 他. 高齢労働者と若年労働者における睡眠休養感の比較調査（特定健診項目を用いて）. 第65回日本人間ドック学会学術大会, 横浜, 2024.8.7
- ・小林充典, 他. 睡眠休養感向上に向けた「職員健康サポートプログラム」の取り組みと評価（アンケート結果からの検討）. 第65回日本人間ドック学会学術大会, 横浜, 2024.8.7
- ・小林充典. 睡眠休養感向上に向けた「職員健康サポートプログラム」の取り組みと評価（アンケート結果からの検討）. 第23回日本睡眠歯科学会・学術集会, 徳島, 2024.11.3
- ・講演；小林充典. 健康寿命と口の関係 歯磨きだけでは守れない認知症とフレイルを予防する新常識. 美心祭, 高崎, 2024.10.27
- ・講演；小林充典. 歯科衛生士だからこそ、患者さんの睡眠と栄養を見る目を持とう！太田医療技術専門学校, 太田, 2024.12.5
- ・講演；小林充典. 台湾研修報告、台湾の食事と血糖値変化について. Dr'sあるあるラウンジ, 名古屋, 2024.12.14

3-10. 放射線部

見田 尊（課長）

◆ 概要

2024年度、放射線部では高額医療機器であるCTとMRIを更新しました。ヘルスパーククリニック開院の2009年から長年に亘り使用し、心臓CT検査、全身腫瘍MRI検査の立ち上げに活躍した撮影装置です。現在、医療経済が悪化してきており、設備投資が困難な医療施設も多い状況で、撮影装置の更新を計画通りにおこなえたことは感謝しなくてはなりません。最新機器の導入にともない各検査の短時間化、診断能の向上に繋がっています。また緊急・至急画像であるSTAT画像の対応に関して、職員のスキルが年々向上しており、健診領域、救急領域、脳卒中領域の様々な放射線画像所見において積極的な相談が可能になってきています。

また、胸部レントゲン検査における病変見落としの防止のため、AI読影システムを導入しました。担当医、読影医でも判断が難しい所見もあるため、AI読影による指摘があった際は、その見落としを防止すべく確認読影、読影補助をおこなっています。

◆ スタッフ（2025年3月時点）

放射線技師17名

◆ 2024年度の実績

- ・レントゲン画像検査（健診、外来、病院の合計）： 92,872件
- ・CT画像検査（健診、外来、病院の合計）： 17,306件
- ・MRI画像診断（健診、外来、病院の合計）： 11,594件

◆ 2024年度の学術活動

- ・小淵達也，他．膵内副脾，膵管癌での鑑別診断に苦慮した1例．令和6年度秋季群馬県医学会，前橋，2024.11.30
- ・天川友介，他．フローダイバーター術後の動脈瘤消失評価におけるT1-cube撮影の有用性．第9回美心会グループ学術大会，黒沢病院、2025.2.16
- ・長瑠美，他．膵内副脾、膵管癌との鑑別に苦慮した濾胞性膵炎の1例．第9回美心会グループ学術大会，黒沢病院、2025.2.16

新MRI装置について

大竹 主信（係長）

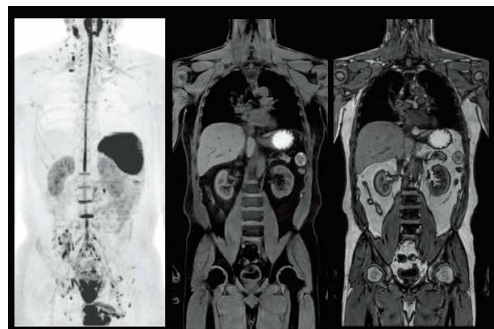
今回、導入しましたMRI装置（PHILIPS 社製 MR5300）の特徴は下記のとおりです。

- ① AI技術により、短時間の検査で高画質な画像が得られる
- ② 開口部が70cmと広く、体格制限が緩和され、閉所恐怖症など受診者のストレスを軽減
- ③ BlueSealマグネット使用により、7ℓのヘリウム（補充不要）で超伝導状態を維持

この新しいMRIを使用する事で、今までより短時間の撮影で高画質な画像を受診者に提供できるようになりました。特に全身MRI（右図）の検査時間は、従来のMRI装置では約40分を要していましたが、本機では約20分で撮像できるようになりました。

また、予期せぬ事故や自然災害が発生しても、ダウンタイムを最小限に抑えてシステムをいち早く復旧できます。

今後もスタッフ一同、より良い医療を提供できるように精進してまいります。



新CT装置について

丹治 翼（主任）

新たに導入したCT装置（SIEMENS社製 SOMATOM_X.ceed）の特徴は下記のとおりです。

- ①画像処理能力の向上
- ②低線量・高画質
- ③金属による障害陰影の低減技術（iMAR）

本機は現場の視点からスループットが大幅に向上しました。従来は、特に側頭骨撮影では、両側の内耳に対して薄いスライス厚の拡大画像を技師が手動で作成するため時間を要していました。本機は、AIが臓器や部位を認識して適切な画像を高速処理して提供する自動位置認識機能を搭載しているため、こうした手間が不要となり、画像提供までの時間が大幅に短縮されました。

また造影剤注入器と撮影ボタンの連動が可能となりました。これにより、造影剤注入ボタンの押し忘れを回避でき、造影剤による副作用が発生した場合には、撮影ボタンを押すことで注入と撮影を同時に止めることができるようになりました。その他、バーコードリーダーを使用して受診者情報を特定し、検査をおこなえるようになり、ヒューマンエラーの回避に役立っています。

従来、体内金属は障害陰影となり画質劣化の原因となっていました。iMARという画像処理（上図）をおこなうことで、不明瞭になった周辺臓器の観察が可能となりました。

今後も、受診者ファーストを掲げ、疾患の早期発見・早期治療に繋がる検査画像を提供してまいります。



3-11. 検査部

原田 和彦（課長）

◆ 概要

私たち臨床検査技師がおこなう臨床検査は、医師が患者さんの病気の診断や治療効果を判断するためにとても重要な情報となります。その検査は、人体から採取した血液、尿などを扱う「検体検査」、超音波、心電図といった患者さんに直接検査をおこなう「生理機能検査」に分けることができます。私たちは医療スタッフの一員として、重要な役割を担う仕事を担当しています。

当院検査部は「院内の感染制御」、「耐性菌出現の抑制」そして「信頼できる検査のご提供」の3つの大きな目標を掲げています。検査部には感染症に関する多くの情報が集まってきます。そして、その情報を初めに目にするは臨床検査技師です。少しの気の緩みが医療崩壊を招く新型コロナウイルス感染症や薬剤耐性菌の蔓延、2050年には薬剤耐性菌が世界最大の死因となると予想されている抗菌薬乱用問題、どれも私たち人類にとって大変な脅威となります。医療体制の維持、耐性菌の院内伝播の制御そして抗菌薬の適正使用のための情報提供、これらは検査部の責務であると考え行動しています。

そして、信頼できる検査のご提供のため、多くの職員が上級資格の取得を目標としています。既に超音波検査士や緊急臨床検査士の資格を取得した職員がいます。また、2級臨床検査士取得のため他施設で研修を受ける職員もいます。専門性の高い臨床検査技師が在職していることは、患者さんの安心感につながります。また、認定を取得したことで職員の責任感やモチベーションの向上にもつながっています。

私たちは臨床検査技師として何を求められているのか、何をすべきなのかを自問自答しながら、ひとつひとつの業務に真摯に向き合っています。今後も、自分たちの責務を全うし、そしてご利用者の方々に満足していただける医療のご提供に邁進してまいります。

◆ スタッフ数（2025年3月現在）

臨床検査技師 37名（正職員：24名 パート職員：13名）

◆ 2024年度実績

- ① 超音波検査件数（入院・外来・ドック）：67,559件（前年度比103.6%）
- ② 生化学検査数（入院・外来）：49,878件（前年度比104.6%）

◆ 2024年度の学術活動

- ・木村亮太，他．MAFLDとNAFLDの関係について（脂肪肝の grading の観点より）．日本超音波医学会第97回学術集会，横浜，2024.6.1
- ・後藤桃子，他．人間ドックで発見されたGISTの8例．第65回日本人間ドック・予防医療学会学術集会，横浜，2024.9.6
- ・新井綾乃，他．矢島の基準による脂肪肝のGgradingとインスリン抵抗性の関係．第65回日本人間ドック・予防医療学会学術集会，横浜，2024.9.6
- ・木村亮太，他．脂肪肝を予測する各種指数の評価と機械学習による脂肪肝予測モデルの開発．第65回日本人間ドック・予防医療学会学術集会，横浜，2024.9.6

当院検査部の特徴

齋藤 雄大（主任）

当院検査部の最大の特徴は、業務内容が健診・外来・病棟の3つの部門に分かれていながら、検査担当者を固定していない点にあります（責任者は固定）。この特徴により、私たち臨床検査技師は生理機能検査から検体検査まで幅広い検査に携わることが可能で、総合的なスキルと知識を効率的に習得・向上させることができます。多くの人は、検査業務は「機械を操作するだけの簡単な仕事」と想像していると思います。確かに、検査内容を問わず、機器の性能が向上したことで操作は容易になっています。しかしながら、検査結果を正確に解釈し、臨床に有用な情報として提供するには、臨床検査技師の深い知識と経験が不可欠です。私たちは専門家としての自覚と責任を持ち、日々の業務に励んでいます。

検査部にはスキルアップのための機会が豊富にあります。その一例として超音波専門医による超音波勉強会が挙げられます。専門医による症例の説明は大変分かりやすく、高度な専門知識を日常的に学ぶことができます。また、当院のドック受診者数は年間4万人に迫り、ドックにおける腹部超音波検査数は1日あたり150人前後となります。短期間で多くの検査経験を積むことが可能で、超音波検査の技術と診断能力を飛躍的に向上させることができます。

資格取得にも積極的に取り組んでいます。当法人は資格取得を推奨しており、資格取得者には特別手当が支給されています。現時点において、超音波検査士（泌尿器領域、消化管領域）、緊急臨床検査士、二級臨床検査士（循環器領域、神経生理領域）が在職しており、その専門知識を活かして活躍しています。さらに、院内の規定を満たすことで、学会や講習会等の参加費用、遠征費用の補助を受けられ、個々のキャリアアップを強力に支援していただいています。

最新技術の導入にも積極的です。その一例として、念願だった自動輸血検査機器を導入していただきました（写真）。この装置により、効率的で安全な輸血検査体制が構築されています。また、検査室全体のデジタル化も進行しており、生理機能検査システムの導入も検討中です。これらの最新技術を積極的に取り入れることで、検査業務の精度向上と効率化を図っています。



当院の検査部は30代以下の若い職員が中心であり、たいへん活気に溢れています。若い世代ゆえに悩むこともありますが、悩みを力に変換できるよう、定期的な面談を通じて部員一人ひとりの希望を吸い上げ、懸念点は速やかに解消し、新しい考え方や知識を積極的に取り入れることを大切にしています。時代の変化に柔軟に対応できる検査室を目指し、日々努力を重ねています。

私たちはこれからも、地域医療に貢献するため、そして最高の検査サービスを提供するために、一丸となり成長を続けてまいります。

3-12. 高崎健康管理センター

◆ 概要

——日本一の人間ドックを目指して——

昨年度の当施設の人間ドック受診者総数は39,606人で4万人に迫る勢いでした。この数は恐らく国内では1、2位を争う数字ではないかと思えます。2009年に入職時は2万人台でしたので、この間、2倍に増加したことになります。最近では日本一の人間ドックも夢ではない、と考えてスタッフと夢を共有しています。入職時より、豪華な食事には定評があり、また建物の外観と内装も豪華なものです。廊下は広く、壁面には絵画が展示され、毎日、新鮮な生花が随所に飾れています。

問題は医療の質ですが、検査データのみならず画像所見でも、技師が精査を疑った場合は専任医である私が、当日の内科診察の後で異常について説明し、その後の精査の予定をたてるか、遠隔地であれば画像をそえた紹介状を作成しています（パニック対応）。当施設はクリニックを併設しており（ヘルスパーククリニック）、通院圏内であれば直ちに治療を開始することも可能です（高血圧、糖尿病、など）。

この取り組みはご利用者に好評で、さらなる受診者数の増加につながっているものと思われます。

健診スタッフに聞きましたが、日々、日本一を目指す健診施設で働けることに誇りをもって働いていると異口同音に答えます。現場での“改善”運動も進行しており、ますますの発展・充実が期待されます。



矢島 義昭

内科診療部長
高崎健康管理
センター長

◆ スタッフ構成（2025年3月時点）

事務 29名、保健師 11名、看護師 11名、計測・診察介助 10名、案内係 28名、合計89名

◆ 2024年度実績

- ・人間ドック受診者数 39,569名（前年度比 101.0%）
- ・健康診断受診者数 16,880名（前年度比 100.3%）
- ・宿泊ドック 473名、全身MRI 114名、心臓MRI 12名、脳ドック 1,644名
- ・健康支援教室を開催（高崎芸術劇場にて、2025.3.30）

◆ 学術活動

- ・矢島義昭，他．オランザピン（抗精神病薬）による薬剤性脂肪肝におけるATIの評価．日本超音波医学会第97回学術集会，横浜，2024.6.1
- ・多胡奈央子，他．当院人間ドックにおける顧客ロイヤルティの指標NPSの検討．第65回日本人間ドック・予防医療学会学術大会，横浜，2024.9.6
- ・三輪千代枝，他．当院人間ドックにおける受付待ち時間～来院順受付と予約時間枠受付の比較．第65回日本人間ドック・予防医療学会学術大会，横浜，2024.9.6
- ・山崎牧子，他．当法人20歳代女性職員を対象とした子宮がん検診の実施．第65回日本人間ドック・予防医療学会学術大会，横浜，2024.9.7
- ・望月静佳，他．当院人間ドック・健診の受診者における体調不良者の発生状況．第65回日本人間ドック・予防医療学会学術大会，横浜，2024.9.7
- ・山崎牧子，他．当法人20代女性職員に対する子宮がん検診受診率向上の取り組み．令和6年度秋季群馬県医学会，前橋，2024.11.30
- ・原悠，他．便潜血反応陽性が2年以上連続する精検未受診における大腸癌発見率．第9回美心会グループ学術大会，黒沢病院，2025.2.16

- ・望月静佳，他．当院人間ドックにおいて検査中心を検討すべきであった3事例．第9回美心会グループ学術大会，黒沢病院，2025.2.16
- ・植井子垂矢，他．当院人間ドックにおける顧客ロイヤルティの指標「NPS®」の検討．第9回美心会グループ学術大会，黒沢病院，2025.2.16

受診枠の拡充、サービスの向上に向けた新たな挑戦

吉原 尊樹（事務長）

おかげさまで、当センターの2024年度人間ドック健康診断は、過去最高となる約57,000名、うち人間ドックは40,000名に迫るご受診者をいただきました。

当センターでは、これまで運用面の継続的な改善、近年ではiPadによる誘導支援システムの導入など、ソフト、ハードの両面から、受診時間の短縮とともに、受診者の受け入れに努めてまいりました。しかしながら、設備上、人員上の理由から今後の受診受入数の大幅な増加は困難になりつつあるとともに、受診者のライフスタイルや勤務形態の変化による多様な要求への対応が必要となりました。こうした状況を踏まえ、2024年度は従前とは視点を変え、受診者数の受入確保に向けた取り組みを実施いたしました。

1つ目は、健康診断の胃の検査のバリウムへの統一です。これまでの胃カメラとの選択制を止め、バリウムに統一することで、その枠を人間ドック受診希望者にご案内できるようにいたしました。2つ目は、脳ドックコースの見直しです。これまで提供していた4つのコースを疾患別に3つのコースに明確化するとともに、すべてのコースに医師による画像説明を加えることといたしました。3つ目は9月より開始した「午後ドック」です。多くの受診希望に応えるため、これまでの午前に加え、午後の人間ドックの提供を開始いたしました。開始以来、毎月定員20名全てが埋まるほど好評をいただいております。現状、毎月第3金曜日におこなっていますが、新年度に向けて実施日を増やすことも検討しています。

これらの取り組みの一部は、利用者に負担額の増加や、サービスの低下と受けとめられるところもあります。実施に向けては現場スタッフがていねいに説明し、理解を求めるといった努力を続けてまいりました。

さらに、次年度に向けて、以下2つの実行を予定しております。1つ目は、内視鏡、乳腺エコー検査をはじめとする検査料金の改定です。資材、機材、人件費の高騰が続く中で、検査の質を維持するという観点から改定することになりました。当センターでは、数年にわたって検討を進めておりました。大きな決断でありましたが、次年度に実行をすることとしております。2つ目は、直前の受診キャンセル、日程変更希望に対するキャンセル料金の設定です。これまで1ヶ月あたり200件を超える受診キャンセルおよび日程変更のご連絡を受けておりました。このことで受診を希望されている他の方に、ご提供ができない状態が発生しておりました。こうした状況を踏まえやむなく、人間ドック、健康診断のキャンセル・日程変更は、受診日の前日から起算し、さかのぼって7日目にあたる日から当日まで、胃カメラ検査においては、当日キャンセルに対して、一律キャンセル料金をいただくことといたしました。こうした改善に取り組み、多くの方々に満足いただけるサービスの提供に努めてまいりたいと考えております。

3月30日（日）高崎芸術劇場大ホールにおきまして、今年度人間ドックご受診者様を対象とした健康支援教室を開催いたしました。今回のテーマは「人生120年を元気で生きる」、23回目、高崎芸術劇場

では5回目の開催となりました。今回は年度末の最終日曜日の開催となったため、来場者数が心配されましたが、結果的に過去最高となる2,000人を超える方より事前申し込みをいただきました。毎回会を重ねるたびに応募者が増えており、今回も開場前から多くの来場者がお越しになり、開演前に大ホールの席がほとんど埋まる盛況ぶりでした。何よりも印象的なのは、来場された皆さまが非常に楽しみにされていることで、当行事に対する期待の高さが感じられました。

例年どおり、まず群馬交響楽団による管弦楽演奏を楽しんでいただきました。次いで、医師講演では、大森重宏黒沢病院副院長による「認知症にならないためには」、大木亮理事長補佐兼黒沢病院透析センター長による「前立腺がんの早期診断と治療について」、松本健第一内科部長による「睡眠の基礎知識」、黒澤功理事長による「今から治せる生活習慣病」と4つのテーマで発表をおこないました。最新のトレンドを取り入れながら、わかりやすい内容であったと来場者から好評の声をいただきました。

多くの関係者、来場者によってこのイベントが支えられていることをあらためて感謝しています。これからも、多くの来場者をお迎えし、みなさまに喜んでいただけるイベントをお届けできるよう努めてまいります。

今後も、予防医療の発展・推進に向けて積極的に取り組んでまいります。



健康支援教室：群馬交響楽団の演奏



健康支援教室：医師講演

当センターの取り組みを振り返って

井戸谷 恵（保健師）

日本人間ドック・予防医療学会によると、「健診施設は、正確な受診者情報をもとに受診者に精度管理が正確に実施された検査を安全に実施し、受診者自身が自分の健康状態を正確に理解し、より健康な生活を送れるように支援するのが普遍的な役割」としています。

近年の高崎健康管理センターの取り組みを振り返ると、検査結果を受診者の方にいち早く届けられるように様々な取り組みをしていると改めて感じています。例えば、診察時の採血・便潜血反応結果の説明やパニック画像対応による至急所見者への受診勧奨、健診結果の発送日程短縮化プロジェクト（結果発送工程の見直し、結果表フォーマットの変更、他）など、検査結果を早く知りたいという受診者ニーズにも応えられるような運用を検討し実施してきました。

特に、人間ドックや健診受診後の速やかな検査結果のお知らせは、その後の精検受診率にも影響を及ぼすとも言われています。受診者自身に自分の健康状態を知っていただくことは、病気を早期発見し、適切な治療に繋げるため欠かせない要素です。

受診者の方々がより健康な生活を送るために、健診施設が担う役割は非常に大きいです。今後も現状の取り組みに甘んじることなく、健診施設としての取り組みレベルをより上げられるように励みたいと考えます。

3-13. ヴァレオプロ（メディカルフィットネス&スパ）

齋藤 志乃（主任）

◆ 概要

ヴァレオプロは医療法の基準に沿ったフィットネスクラブである「42条施設」として、2009年7月に設立され、厚生労働省から「健康づくりを推進する上で適切な施設（指定運動療法施設）」という認定を受けています。これにより、運動療法をおこなうことが適当であると医師が判断し、運動処方箋を発行された方は、月会費が医療費控除の対象となります（当院を受診された場合は、運動処方箋は無料で発行）。一般のフィットネスクラブではおこなうことのできない血液検査や、より高度な医学的検査だけでなく、健康運動指導士、健康運動実践指導者、管理栄養士、理学療法士によるカウンセリングなども受けられることが特徴です。また、当院に隣接した介護付有料老人ホーム カーサ・デ・ヴェルデ黒沢の施設内には介護予防施設「ANNEX」があります。ご入居者をはじめ、要介護認定が自立～要支援2までの方を対象とした運動のサポートもしています。

2024年度は、ヴァレオプロ設立15周年にあたる年でした。会員の皆様や美心会の皆様のサポートのおかげで会員数も順調に伸び、ここまで発展することができました。日頃の感謝を込めてたくさんのイベントを企画、実施しました。

私達は、会員の皆様が生涯にわたって運動習慣を身に付けていただけるようサポートをしています。通うことが楽しければ継続に繋がります!! 今後も運動を楽しんでいただけるよう工夫してまいります。

◆ スタッフ構成（2025年3月時点）

- ・健康運動指導士 3名、健康運動実践指導者 1名、理学療法士／健康運動指導士 1名
- ・管理栄養士 2名、トレーナー 4名、フロント（事務）スタッフ 5名、クリーンスタッフ 4名

◆ 2024年度実績

●会員数：1,307名、退会率：平均 1.1%（一般的フィットネスの退会率は3～5%とされている）

●有料プログラム指導件数：PS：437件、PT：63件、VRC：368件

●最新技術を搭載したマシン（チェックアップ（テクノジム社）写真①）を群馬県で初めて導入（写真②は説明会の様子）。高度な測定技術とAIにより身体および認知状態を評価し、ウェルネスエイジ（健康年齢）を算出するマシンです。利用した方々からは「ゲームみたいで楽しい」「結果が点数として算出されるので励みになる」「自分の苦手なところ課題がみつかって良かった」などの声が聞かれました。



●設立15周年記念の特別イベント

- ・15周年記念トレーナーを作成し、15年間継続して会員登録された方へプレゼント（右写真）
- ・マラソン大会に向けたコンディショニングセミナーを毎月実施



- ・榛名山登山 (写真③)
- ・サウナを活用した「アウフグース」イベント (写真④)



- その他、2024年度に開催したイベント
- ・春の入会キャンペーン開催 (2024.4.1~30)
- ・菖蒲の日 (菖蒲湯の薬湯を用意; 2024.5.5)
- ・熱中症セミナー開催 (2024.6.26)
- ・七夕イベント (フロントスタッフが浴衣を着用; 2024.7.7, 写真⑤)
- ・ハロウィンイベント (スタッフも会員様も仮装して運動; 2024.10.31)
- ・ぐんまマラソンに会員様と参加 (2024.11.3, 写真⑥)
- ・クリスマスイベント (スタッフも会員様もクリスマスの衣装で運動; 2024.12.24, 25)
- ・冬至の日 (ゆず湯の薬湯を用意) ・太陽礼拝 (2024.12.30, 写真⑦)
- ・初詣ラン&ウォーク (ランとウォーキングに分かれて山名八幡宮まで; 2025.1.26, 写真⑧)
- ・節分の日 (福豆を配布; 2025.2.3) ・ANNEXにてフラダンス教室 (毎週第4火曜日10時~10時30分)



- 人間ドックのオプションとしてロコモ健診を開始 (2024.4月~, 写真⑨)
- 生活習慣病の予防・改善に向けた職員健康サポートプログラム (2024.10月)
- 講演活動など



地域の方々の健康増進のため、様々な講演会、講習会を実施しました。

また、スポーツ施設としてレベルアップのため、様々なセミナーや展示会に積極的に参加しています。

- ・にこにこヴァレオ講座 (毎月26日開催, 写真⑩, ⑪)
- ・アイケイ倉賀野 (第3・4水曜日)、アイケイ矢中 (第4火曜日) へ健康体操指導 (担当: トレーナー)
- ・カーサ・デ・ヴェルデ黒沢、ご入居者を対象に健康体操 (ヨガ) を実施 (担当: 齋藤)
- ・あんしんセンター岩鼻にて健康体操を実施 (担当: 武井)
- ・メディカルフィットネスフォーラムに参加 (2024.7.6, 有明セントラルホール, 写真⑫)
- ・スポルテック2024に参加 (2024.7.16-18, 東京ビッグサイト, 写真⑬)
- ・テクノジム主催「メディカルフィットネスセミナー in 高崎」が黒沢病院7階の美心ホールで開催され、当施設からは「ヴァレオプロ15年の歩み~退会率1%を継続するために~」講演 (齋藤志乃、2025.2.22, 写真⑭)



